



託北だより「あすなろ」No.58

「和」～敬・愛・信～

令和7年6月30日(月)

熊本市立託麻北小学校

文責：小倉 秀俊



HPコード

☀ 「すくすく北っ子の会」

6月27日(金)の5・6校時目に、本年度第1回目の「すくすく北っ子の会」を行いました。今回のテーマは、昨年度に引き続き「メディアやインターネット」についてです。保健委員、体育委員、給食委員、安全防災委員の子どもたちが、進行や発表を行い、会を運営してくれました。また、講師に、真和中学校・高等学校で情報担当の専任講師をされております、戸田俊文^{とだとしふみ}先生をお招きして、インターネットやSNSの利用についてお話を伺いました。

現在、インターネットを介した犯罪の数は減少傾向にありますが、未成年者を対象とした重大な犯罪は急速に増加しているそうです。そこで、戸田先生から、インターネットを使う上で、3つの大切なことを教えて頂きました。

① 表現力

インターネットでは、相手の表情が分からない場合があります。言葉が足りずに誤解を招くこともあります。自分の思いや考えを正確に伝えるためには表現力が必要です。そのためには、**紙と鉛筆でしっかり読んだい書きたいすることが大切です。**

② コミュニケーション力

コミュニケーション力を身に着けるためには、**スマホを使わずに話ができる人の存在が大切です。**家族や友達、先生がそれにあたります。インターネットで知らない人に相談はできません。(してはいけません。)逆に弱みにつけこみ犯罪に巻き込まれる恐れがあります。身近にいる信頼できる人とたくさん話をして、コミュニケーション力を磨くことが大切です。

③ 想像力

想像力は、相手の気持ちを考えたり、物事の結果を予想したりするために大



切な力です。しかし、コンピューターは、想像する時間や手間を減らすための道具でもあり、検索すれば、すぐに実物の画像や映像を見ることができます。それで想像力は身につきません。想像力を磨くためには、体験が必要です。**たくさん**の体験は豊かな想像力の元です。

以上の力を身につけた上で、インターネットを利用すると、安全で豊かな生活を送ることができるようになります。

最後に先生は、次のような言葉で締めくくられました。

「学習目的のないスマホなどの利用は、あなたたちの学力を確実に奪っていく。」

同日、第1回の学校評議員会も開催し、「すくすく北っ子の会」を見て頂きました。学校評議員制度とは以下の趣旨を担っております。



○ 学校・家庭・地域が連携協力しながら一体となって子どもの健やかな成長を担っていくために、地域に開かれた学校づくりをより一層推進する観点から、学校に、学校評議員をおくこととする。

○ これにより、学校や地域の実情に応じて、学校運営に関し、保護者や地域住民の意向を把握・反映しながらその協力を得るとともに、学校としての説明責任を果たしていくことができるようにする。(文部科学省ホームページより)

学校評議員会は、年に3回、学期ごとに開催し、学校運営について、それぞれの立場からご意見をいただきます。また、入学式や卒業式、運動会、北っ子フェスタなどの行事にもお招きし、子どもたちの活躍する姿も見て頂く予定です。

コーヒーブレイク



「傘かしげ」を御存じでしょうか。雨の日に傘をさして歩いている人が、対向してくる人とすれ違う際に、相手と反対側へ傘を傾けることです。そうすることで、相手に傘の露先が当たったり、水滴をかけたりすることを避けることができます。これは「江戸しぐさ」の一つで、江戸時代から伝わるマナーです。梅雨は明けたようですが、それでも傘が欠かせません。先日傘置き場を見てもみたら、ネームバンドを止めずに、傘立てに差し込んである傘がみられました。予め指導はしていますが、急いでいたのか、面倒だったのかわかりませんが、取り出すときに困るだろうと直しておきました。自分だけでなく、後の人のことを考えると、少しの手間ですが大切です。とは言いながら、我が家の傘を見てみると、止めてないどころか、雨の傘で土間が水浸しになっていました。外での「しぐさ」は大丈夫なのだろうかと心配になりました。